

おいしいわ

レシピの紹介

「ポテトサラダ」というと、マッシュしたじゃがいもをマヨネーズ味に仕上げたサラダが一般的かと思いますが、このシャキシャキポテトサラダは新しいイメージのポテトサラダです。

じゃがいもをせん切りにしてゆでて、水冷することでじゃがいものでんぷん質を流し、シャキシャキとした歯ごたえを味わうことができます。ドレッシングも手作りで、酸味のある味つけとなっており、さわやかなサラダです。新じゃがが出てくるこれからの季節にもぴったりです。使う野菜はご家庭にあるもので結構ですが、春ならアスパラガスやキャベツがおすすめです。

作り方

- ① じゃがいもとにんじんはせん切り、きゅうりは輪切り、アスパラガスは斜め切りにする。
- ② ①をゆでて、水冷し、水気を切る。
- ③ Aを混ぜてドレッシングを作っておく。
- ④ ②の野菜と、コーン缶、③のドレッシングを合わせてできあがり。

●今回のレシピの紹介は矢高共同調理場です

矢高共同調理場は飯田市内8つの学校（小学校6校・中学校2校）、約4200食の給食を31名（栄養士4名、調理員27名）で作っています。子どもたちが「食べるって楽しいな」「みんなと食べるとおいしいな」「苦手なものも食べられるようになったよ」など、食を通して様々な体験をするお手伝いができるような給食を届けられるようにがんばっています。

シャキシャキポテトサラダ

(エネルギー37kcal、塩分0.5g)

材料（4人分）

じゃがいも	110g
きゅうり	60g
コーン缶	35g
アスパラガス	30g
にんじん	20g
塩	小さじ 1/6
こしょう	少々
サラダ油	小さじ 1/3
しょうゆ	大さじ 1/2
酢	大さじ 1/2
砂糖	小さじ 1/6

A



「子どもをアウトドアでゲンキに育てる本」

松浦裕子／著 小学館

タレント・つるの剛士さんが子どもたちと自然の中へ！川でザリガニ釣り、山で虫探し、夜になったら星を見て……。初心者OKのファミリーアウトドア本です。



「おやこで作ろう こどもお花部」

高橋郁代／著 新潮社

お散歩で摘んできた野の花も、アレンジ次第でおしゃれなインテリア。子どもと一緒にフラワーアレンジメントを楽しもう。花冠やリースなども。



「子どもと楽しむ！週末の冒険」

制作 A-Works

今度の休み、どこ行こうかな・・・お父さん、お母さん！スリルにあふれた冒険旅行があります。ドルフィンスイム、ツリーハウス、洞窟探検 etc. ページをめくるだけでわくわくが止まらない1冊。

おやこのほんだな

飯田市立
図書館からの
おすすめ本



あたたかくなって外が気持ちのいい季節になりました。

親子で外へ出かけてみませんか？

身近なところにもふしぎなこと、楽しいことがいっぱいです。何かふしぎだなと思ったら本で調べてみる。本でおもしろそうなことを見つけたら、実際にやってみよう。知識と体験のキャッチボールが子どもの学びを深めます。

そんなきっかけ作りにおすすめの本を紹介します。

飯田市立図書館



表紙絵 中村葵さん（4歳）

大宮通り桜まつり「親子ふれあい写生大会」応募作品より。一部を切り取り表紙絵としても使わせていただいております。

飯田市教育委員会がお届けする
子どもを「はぐくむ」情報誌

はぐくむ

1 2017.5
vol.1

飯田市
教育ビジョン
地育力による
未来をひらく
心豊かな人づくり

Hagu(はぐ)

2017.5
vol.1

1

飯田市教育委員会がお届けする子どもを「はぐくむ」情報誌

2017年5月15日発行 飯田市教育委員会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2-53-4 ☎0265-22-4511

【Hagu(はぐ)】「育む」と「はぐする（抱きしめる）」をかけた造語です

飯田コミュニティスクールが始まりました

コミュニティスクールとは？

学校・保護者・地域住民が一体となって、地域に根ざした学校を創る仕組みです。

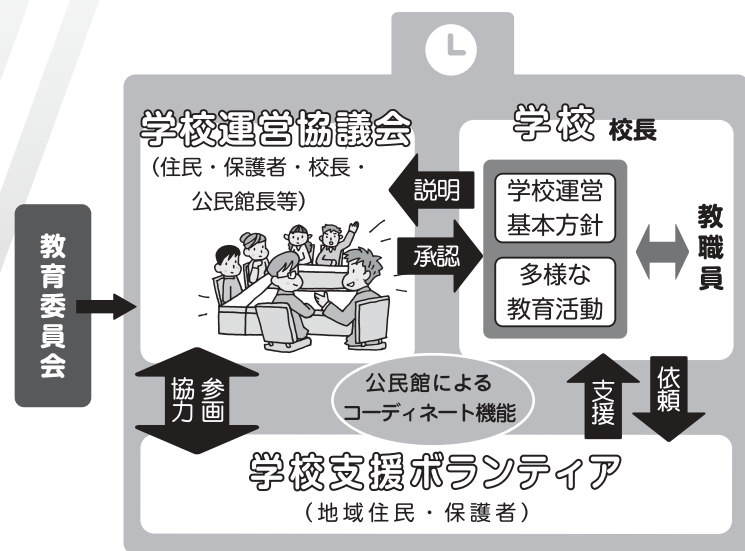
「学校運営協議会」は、子どもたちの健やかな成長のために、保護者や地域の皆さんが学校と力を合わせ、学校の運営方針や様々な活動について話し合う組織です。この「学校運営協議会」を設置した学校がコミュニティスクールです。

コミュニティスクールの取り組みで、子どもたちの「学力・体力の向上」を目指す「小中連携・一貫教育」をより一層進めます。

コミュニティスクールが目指すもの

すべての子どもたちが輝く、地域に根ざしたオンリーワンの学校を創ります。そして、地域に愛着を感じ、郷土に誇りを持てる子どもたちを育みます。地域が力を合わせることで善い学校ができ、善い学校づくりを進めていくことで善い地域になっていく、そんな好循環を目指していきます。

飯田コミュニティスクール



すべては未来を拓く
子どもたちの笑顔のために

市内全28小中学校が 飯田コミュニティスクールに 指定されました

指定書交付式

飯田コミュニティスクールに指定したことを証明する「指定書」を、市内全校の平成28年度の卒業式に合わせて、教育委員会が各学校に届けました。



三穂小学校では、まちづくり委員会や、公民館、PTAの代表の方にも見守られて、校長先生に指定書が手渡されました。(H29.3.16)

コミュニティ スクール Q&A

Q: 保護者や地域の代表が「学校の運営方針」を話し合い、承認するなんて、とても難しいと思うのですが。

A: “話し合い、承認する”とは、同じ仲間として一緒に力を合わせていきます、という意思表示で、子どもたちを育てる当事者になることを意味します。地域住民である感覚を大切に、学校の運営に地域や保護者の視点を反映させていくことが大切だと考えています。

Q: “飯田”コミュニティスクールには、飯田市の特徴があるのですか？

A: 「学校運営協議会」の委員には、地域の公民館館長や公民館主事が入り、学校と地域をつなぐコーディネーター役を務めます。これが、他の地域には見られない飯田市の特徴です。

Q: 保護者は、何から始めたらよいのですか？

A: まずは、学校からの情報発信に関心を持ってください。“できることから、少しずつ”という気持ちで、学校の呼びかけに応じていきましょう。6月17日(土)には、飯田コミュニティスクール設立記念大会がありますので、ご参加ください。

応援して います！



私は竜丘小の児童見守り「ぶらきよるきのしたあきこ隊」で活動している木下晶子です。今年も、「ぶらぶら」散歩して「きよるきよる」見回る活動を続けていきます。



はやしちさき
鼎公民館館長の林知先です。学校と地域の協働で、子どもたちが心豊かに育つよう、コーディネーターとしての役割を担っていけたらと思います。

お知らせ

飯田コミュニティスクール設立記念大会を開催します

☆子どもたちが輝く、地域に根ざした学校を創るために！
☆未来の地域と社会を担う、子どもたちの笑顔のために！
学校・保護者・地域のみなさんが、ともに力を合わせて子どもたちの成長を支える「地域と共にある学校づくり」に向けて、私たちにできることを考えてみませんか？

- ①日時 6月17日(土) 13時20分～
- ②会場 鼎文化センター ホール
- ③内容

- 講演 貝ノ瀬滋先生
＊コミュニティスクールの基本的な考え方と飯田市の取組について
- 講義・演習 北澤孝郎先生(長野県生涯学習推進センター主任指導主事)
＊学校支援ボランティアを進めるうえで留意すること
- 研究協議 ＊実践発表の紹介など

どなたでも
参加できます

問い合わせ 学校教育課 学務係 電話:22-4511 内線 3714

飯田市教育アドバイザーに 就任していただきました



かいのせ しげる
貝ノ瀬滋先生
三鷹市立第四小学校長、三鷹市教育委員会教育長、三鷹市教育委員会委員長を歴任。現文部科学省視学委員、全国コミュニティ・スクール連絡協議会顧問

先生からのメッセージ

飯田市は、昔から学校と地域とのつながりが強く、また、公民館活動も盛んで、コミュニティスクールが上手にいく条件が整っていると思います。私も精一杯支援させていただきます。

ゆい
びより
結
和
コラム

飯田市教育長
代田 昭久



保護者のための情報誌“Hagu(はぐ)”を創刊します。お子様の子育てに少しでもお役にたてれば幸いです。

さて、今年からスタートした飯田コミュニティスクール。ただ、この取り組みは、決して新しいものではありません。今から160年ほど前、江戸時代の末には、全国に1万5千以上の「寺子屋」がありました。これは藩や幕府とは関係なく、庶民の熱意で自然発生したものです。僧侶、医師、町人など社会経験の豊富な人たちが、本職の仕事をする傍らで子どもたちを教えていました。

つまり、この時代から、地域が力をあわせ、地域に根ざした学校は、すでに創られていたのです。ちなみに、当時の日本の就学率と識字率は、世界一だったそうです。

子どもたちの成長を支えるのは、親や先生だけではありません。地域住民や地元企業など、多様な人たちが関わり、その成長を支えていく必要があります。飯田には、地元の子どもたちを地元で育てる伝統が今なお、息づいています。飯田の地を愛し誇りに思う、そんな子どもたちを、みんなで、“Hagu(はぐ)”くんでききませんか。

飯田東中学校区

飯田東中学校区では、飯田大火（1947年4月）の後、飯田東中の生徒の発案で誕生した「りんご並木」の初心を生かした「まちづくり学習」が、小中一貫した取り組みとなってきました。例えば、浜井場小では3年生が、地元の和菓子店との商品の開発や、販売活動から、地域の商店主の方々のまちづくりに向けた強い思いを学びました。追手町小では4年生が、飯田動物園の歩みや特徴を学び、訪問者への案内役を実際に務めることで、動物園がまちづくりに果たす役割を実感的に学びました。飯田東中では、各学年で実施される学習旅行の中で、訪れる地域の「まちづくり」について学びを深め、中学生としてできる「丘の上のまちづくり」への関わりを考えています。

飯田東中学校

生徒数：223名
クラス数：9クラス
創立：昭和22年4月

飯田東中といえば、りんご並木です。雑草が生い茂る夏は、授業の予定を変更して全校で並木に向かうこともあります。りんごの摘果や収穫作業では、中学生と小学校6年生、さらには丘の上の地域のみなさんが一緒に活動しています。昨年11月には天皇皇后両陛下が訪れ交流をされました。行幸啓碑も建立されたので、ぜひ並木に足を運んでください。

浜井場小学校

児童数：162名
クラス数：9クラス
創立：明治41年10月

地域との繋がりを大切に活動も多く行っています。例えば3年生は地元の和菓子屋さんと自分たちで育てたサツマイモを使った和菓子の開発と販売を行い、5年生は遠山地区の方と交流を続け、霜月祭りではおはやしに参加しました。全校では、児童会が中心となり「クリーン登校」と題して、登校するとき通学路に落ちているゴミを拾い、地域をきれいにしています。この活動は昨年度「道の日」に表彰されました。

追手町小学校

児童数：149名
クラス数：8クラス
創立：明治5年7月

追手町小学校の自慢は「伝統ある校舎」です。昭和4年に建てられ、今年で88年目になります。昨年は、「日本の美しい小学校」という本に、写真を載せていただきました。古い校舎ですが、全校で清掃に一生懸命取り組み、大切に使っています。先日は満開の桜の下、校舎の前でお花見給食を楽しみました。

緑ヶ丘中学校区では、小中連携・一貫教育の土台となる取り組みとして、小中学校の先生が連携し合う取り組みが盛んに行われています。例えば先生が、お互いの学校の授業を見合うだけでなく、小学校のいくつかの授業に中学校の先生が授業者として加わり、小学校の先生と一緒に授業をしたり、逆に小学校の先生が、中学校の先生と一緒に部活動の指導にあたったりしています。また、こうした活動をより良いものにするために、小中学校の先生たちが、連携担当者会（年3回）、連携連絡会（年5回）といった、相互理解のための場を設けて、お互いのつながりを深めています。

緑ヶ丘中学校

生徒数：689名
クラス数：26クラス
創立：昭和33年5月

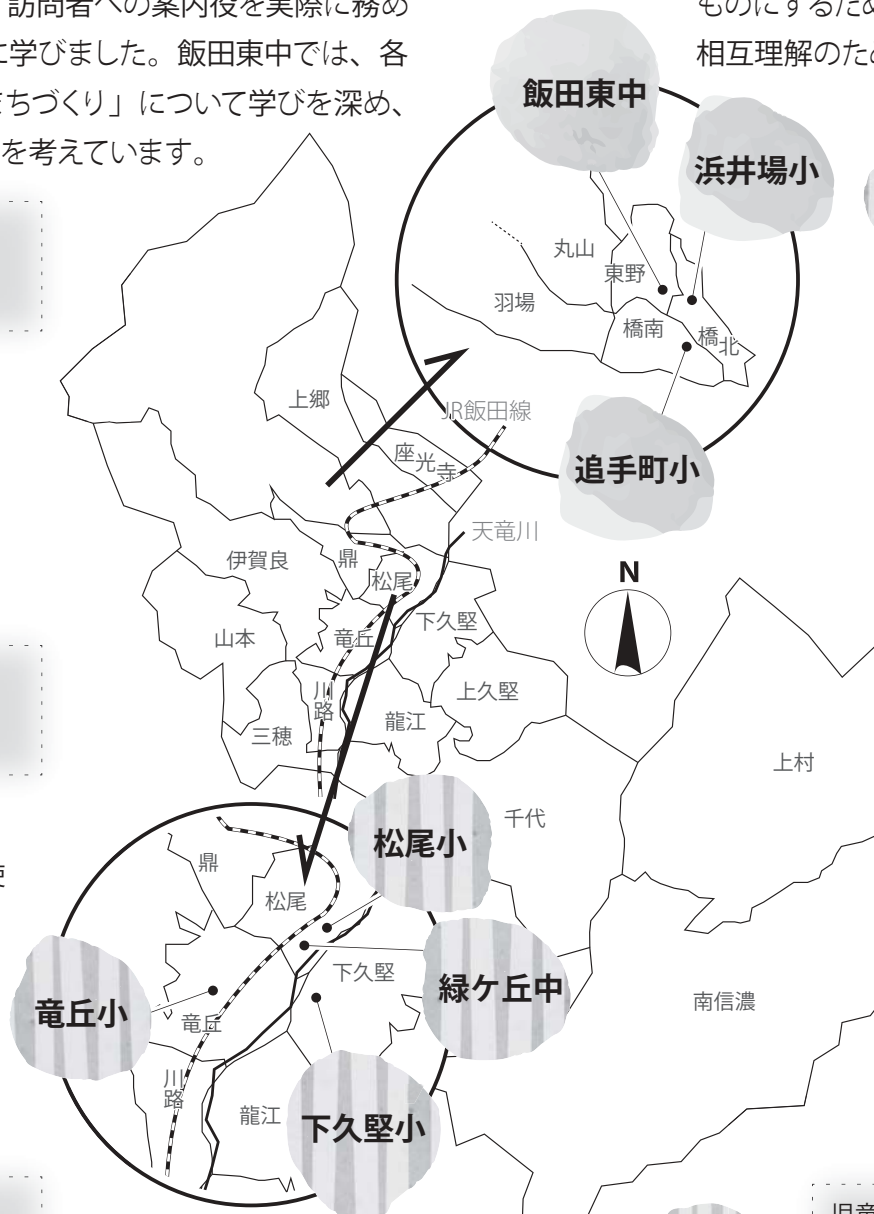
地域の行事に参加する生徒が多いことが特色の一つです。地区の運動会では種目のアイデア提案や競技のお手伝い、各地区での清掃活動への参加、地区文化祭での合唱や吹奏楽の演奏や人形劇を披露しています。生徒は、地域の活動に参加する中で、地域の皆さんとの絆を深めています。地域は緑中生にとってもう一つの教室です。

緑ヶ丘中学校区

下久堅小学校

児童数：169名
クラス数：9クラス
創立：明治6年9月

下久堅特有の文化として伝承されている「ひさかた和紙」を1年生から学んでいます。6年生は、ひさかた和紙保存会の皆さんの手ほどきを受けながら、一人ひとり、何度も何度も冷たい水から楮（こうぞ）をすいて、自分用の立派な「卒業証書」をつくります。小学校での貴重な体験や思い出の一つとなっています。



「もう一つの教室」地域活動の様子



自分でつくる卒業証書

竜丘小学校

児童数：393名
クラス数：16クラス
創立：明治5年8月

春の遠足として「丘のみちしるべ探索」に出掛けます。地域の方を講師に迎えて、竜丘の自然や歴史ある文化財と触れあいます。先輩が植えてくれたヒメカンアオイの林では美しいギフチョウが迎えてくれます。

また、学校のすぐ近くには古墳がいっぱいあり、昨年10月国史跡に指定されました。古墳まつりでは6年生が自分だけの円筒埴輪を作るために野焼きをします。出来上がった埴輪を見せ合いながら笑顔が溢れます。

松尾小学校

児童数：764名
クラス数：30クラス
創立：明治5年8月

校庭に土俵がある松尾小。年間を通して活動している相撲部はもちろん、学年男女対抗の「まけるな相撲松尾場所」が秋に催され、全校で盛り上がります。学校目標「まけるな」の精神のもと、対戦相手と向き合い、弱い自分に負けない心、場や相手への感謝する気持ちを育むことを目的に全校で取り組んでいます。激しくぶつかり合い白熱した取り組みが繰り広げられ、友だちや保護者から熱い声援が飛び交います。



相撲の松尾小



「古墳まつり」にて円筒埴輪づくり



りんご並木で育てたりんごの収穫作業



和菓子屋さんで開発した商品を販売



昭和4年の古い校舎が自慢

親子で向き合う情報モラル・基礎知識

インターネットの安全・安心な利用に向けて

みなさんのご家庭は大丈夫ですか？

インターネットの使用に関する親子のルールづくり！

スマホやパソコンなどにおける「インターネットの利用」について、家庭内でルールや約束を設けているご家庭が多いと思います。

実は家庭のルールに対する保護者とお子さんの認識に、大きなギャップが存在していることをご存じですか？ 右のグラフが示す様に、親はルールを決めていると思っていても、お子さんはルールがあると認識していないケースが多くあります。特に学年が上がるほど、そのギャップは広がっています。

保護者のみなさん、今一度ご家庭のルールをお子さんとしっかり確認してみてください！

もしかしたら、お子さんがルールを認識していないかもしれません！ お子さんをインターネットの危険から守るためには、まずは親子の対話、コミュニケーションから始めましょう！

ルールの参考例

旭ヶ丘中学校の事例

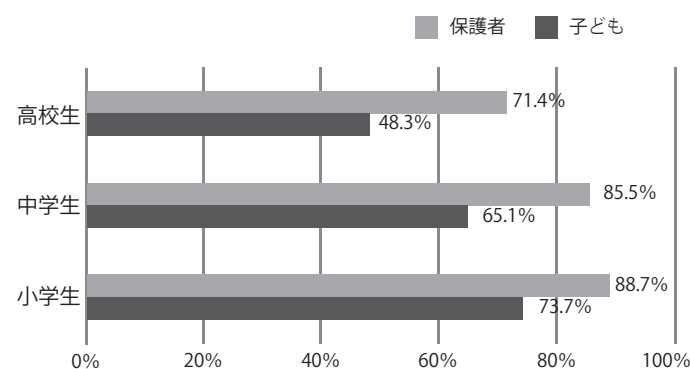
1 SNS の利用時間について

- ・夜、8時を過ぎたら SNS は使用しない。

2 携帯・スマホ等の利用にかかわって

- ・フィルタリング（有害サイトアクセス制限サービス）を必ず利用する。
- ・有害サイトや違法サイトにアクセスしない。
- ・個人情報（写真を含む）や悪口・陰口を書き込まない。
- ・アプリをダウンロードするときは保護者の許可を得る。

家庭で「ルールがある」と思っている割合



(参考) 内閣府「平成 27 年度青少年のインターネット利用環境実態調査結果」(H28.3)

飯田市ネットトラブル相談メール

shinpai@nistr.jp

受信制限している携帯・スマホからは、必ずメール設定で許可にしてください！

Q 小2の娘のことですが、新学期が始まり10日ほどたった頃から、登校時間が近づくにつれ「学校に行きたくない」というようになりました。親としてどうしたらよいか、とても悩んでいます。

A まず、担任や教頭先生に様子を詳しく伝えましょう。家庭と学校での様子を共有し、双方の思いを重ね合わせて娘さんを支えていくことが大切です。いちばん困っているのは娘さんです。その困り感が、愛情や不安などの心理面のことが、友達関係など対人面ことなのか、娘さんに寄り添いながら見守ってあげてください。

娘さんが困ったと感じていることは、将来の自立に向けて乗り越えていく必要があることかもしれません。そのチャンスができたのだと前向きにとらえ、家庭と学校で娘さんを支えていきましょう。

メールフォームはこちら



保護者からのご相談コーナー

連載 教えて！先生

今回の回答者は北澤正光先生
(教育支援指導主事) です。

保護者のみなさまからのご相談をお待ちしております！市ウェブサイトのメールフォームからお寄せください。

ELT に聞いてみよう！！

ELT とは？

ELT (English Language Teaching) は、子どもたちに生きた英語を学んでもらうため、市教育委員会が小中学校へ配置し、英語や外国語活動の授業において担任の先生の授業を補助しています。一般的には ALT、NLT と呼ばれています。

ダニエル先生

飯田歴：6年

出身：アメリカ マサチューセッツ州

【担当地区】

月・火：遠山中、水・木：竜東中、

金：和田小・上村小

Q. 飯田で働くことになったきっかけは？

高校の頃日本に短期留学して、大学院生として九州や京都で過ごしました。就職先として都会の企業に入るか、教育方面に進むか迷いましたが、飯田の自然の中で子どもと関わって楽しく学び、働くことに魅力を感じて ELT を受けました。

Q. 飯田の子どもたちの印象は？

最初は緑ヶ丘中と松尾小を担当しました。クラスの団結力や家族のきずながあると思いました。緑ヶ丘中では海外で学びたいという子のサポートや英語サークルでも活動しました。今は遠山郷の小規模校を担当しています。一人ひとりががんばっていて、お互いに手伝ったり協力しあったり、チャレンジの意識があっていると思います。飯田にきて驚いた霜月祭りをはじめ、近所でも祭りが多いことや、子どもが伝統行事を学んでいることがすばらしい。

Q. おすすめスポットはありますか？

温泉が好きでよくでかけます。市内や近くの温泉はほとんど行きました。ハイキングやウォーキングも好きなので、梅や桜の季節には歩きにいきます。公園での BBQ や河川敷での気楽なピクニックも楽しんでいます。

ご意見
お待ちしております！

こんなことをとりあげてほしい。先生にこんなことを聞いてみたい。この情報が役に立ったなどのご意見をメールフォームからお寄せください。アンケートにお答えいただくと素敵なプレゼントが抽選で当たります！！

プレゼントの応募締切は 6 月 15 日までですが、情報誌へのご意見、先生へのご質問は随時受け付けています。

- ・いい大人形劇フェスタ公式グッズ「ぼお」ぬいぐるみ …1人
- ・いい大人形劇フェスタ公式グッズストラップ …3人
- ・美術博物館プラネタリウム 親子観覧券 …1組
- ・川本喜八郎人形美術館 親子入館券 …3組
- ・竹田扇之助記念国際系操り人形館 親子入館券 …3組

当選発表は、
プレゼント発送を持って
かえさせていただきます

※フェスタ公式グッズは、いい大人形劇フェスタ実行委員会から、入館券は各施設から提供いただきました。

耳より情報

6月
24日
まで

○昨年のワッペンでお出かけしませんか？

昨年のいい大人形劇フェスタのワッペンを付けていれば、小・中・高校生は 6 月 24 日まで、次の対象施設に無料で入館できます。
対象施設：●飯田市美術博物館※●上郷考古博物館●飯田市考古資料館●旧小笠原家書院・資料館●竹田扇之助記念国際系操り人形館●川本喜八郎人形美術館●上村まつり伝承館「天伯」●山村ふるさと保存館「ねぎや」●遠山郷土館
※美術博物館はプラネタリウムと特別展料金を除く

問い合わせ：飯田文化会館 23-3552

○宇宙留学サマーキャンプ 2017

おいけやま 隕石衝突による痕跡が日本で初めて確認された御池山クレーターや、天文ファンにとっては聖地とも呼ばれる天体観測地として有名な「しらびそ高原」、このような飯田市の恵まれた環境の中で、子どもたちに「知的好奇心」や「創造性」、宇宙から地球を見るような大きな視点で物事を考える「グローバルな視野」などを育みます。

日時：8月8日（火）～10日（木）／場所：遠山地区ほか
定員：30人／対象：小学校5・6年生／申込締切：7月7日（金）

問い合わせ：生涯学習・スポーツ課 22-4511 内線 3741



○子ども地球探検隊

今年度から始まる南アルプスジオパークの子ども向け事業です。マイクロバスで遠山郷を探索し、大地の学習を年4回行います。
日時：6月17日（土）・7月22日（土）・8月26日（土）・9月16日（土）7時45分～16時30分／場所：遠山地区
対象：小学校5・6年生／申込締切：往復はがきで5月28日まで

問い合わせ：飯田市美術博物館 22-8118

PRESENT

素敵なプレゼントが
当たります！

飯田市ホームページ

アンケート一覧

教育委員会情報誌 Hagu

メールフォーム
はこちら

